

## 令和4年度 通所型サービスCの活動状況

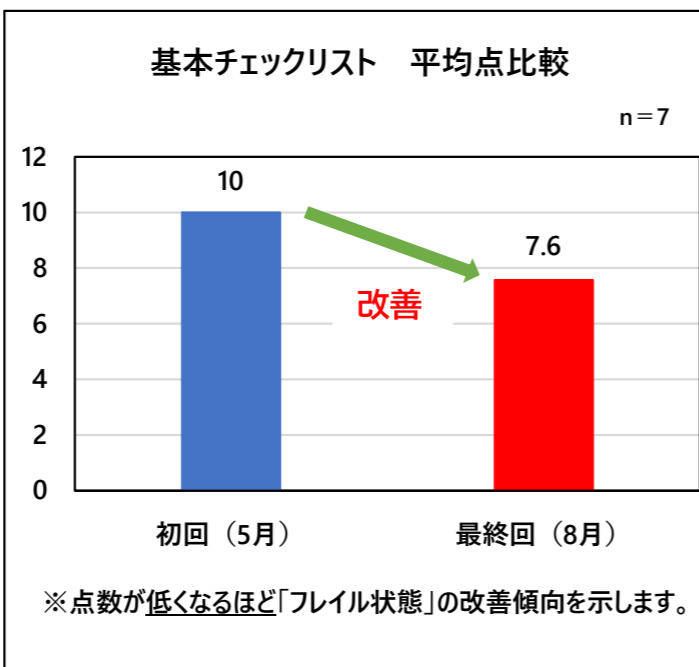
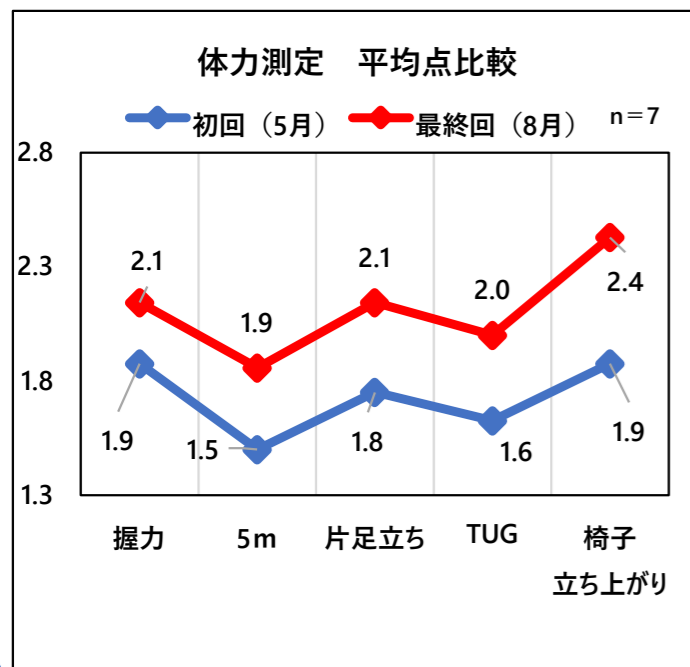
■令和4年度も「通所型サービスC」を実施しています。

「通所型サービスC」とは、安来市介護予防拠点施設「ふれあいプラザ」において、専門職の指導のもと運動・栄養・口腔に関するプログラムを3カ月間短期集中的に提供し、利用者がフレイル・要介護状態になることを予防するとともに、自ら継続して介護予防に取り組み、地域で自立した生活が維持できるよう支援する事業です。



## 令和4年度 3カ月間の効果測定結果

■5月より開始した、伯太地域にて効果測定を行いました。初回と最終回（8月）の数値を比較したところ、身体・生活機能の全ての項目において3カ月間で「改善」といった結果が明らかになりました。



## 令和4年度 地域ケア会議について

■「地域包括ケアシステム」の実現に向け、市民の皆様をはじめ、医療・介護・福祉関係者の方々と毎年、テーマに沿った地域ケア会議を開催しています。

本年度のテーマは「住まいと生活の一体的な支援を考える」です。身寄りのない単身高齢者をはじめ、医療や介護等を必要とする高齢者等が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで安心して暮らすことのできる支援について考えることを目的に開催します。

■「校区別地域ケア会議」の日程

校区	期日	会場
1中	9月14日(水)	安来中央交流センター
2・3中	10月11日(火)	広瀬社会福祉センター
広瀬中	11月18日(金)	広瀬社会福祉センター
伯太中	12月13日(火)	いきいきの郷はくた集会室

・感染症対策のため参加人数を制限し、会場を二つに分け、遠隔型研修「Zoom」によるオンライン形式にて開催します。感染状況によっては、延期または中止とする場合があります。

■「安来市地域ケア推進会議」の日程

◆開催日 令和5年 2月23日(木)  
(感染状況によっては、短縮または中止とする場合があります。)

◆会場 安来市総合文化ホール アルテピア(小ホール)

◆参加者 150名以内

◆講師 一般財団法人高齢者住宅財団 企画部長 落合 明美 氏  
NPO法人大牟田ライフサポートセンター 事務局長 牧島 誠吾 氏

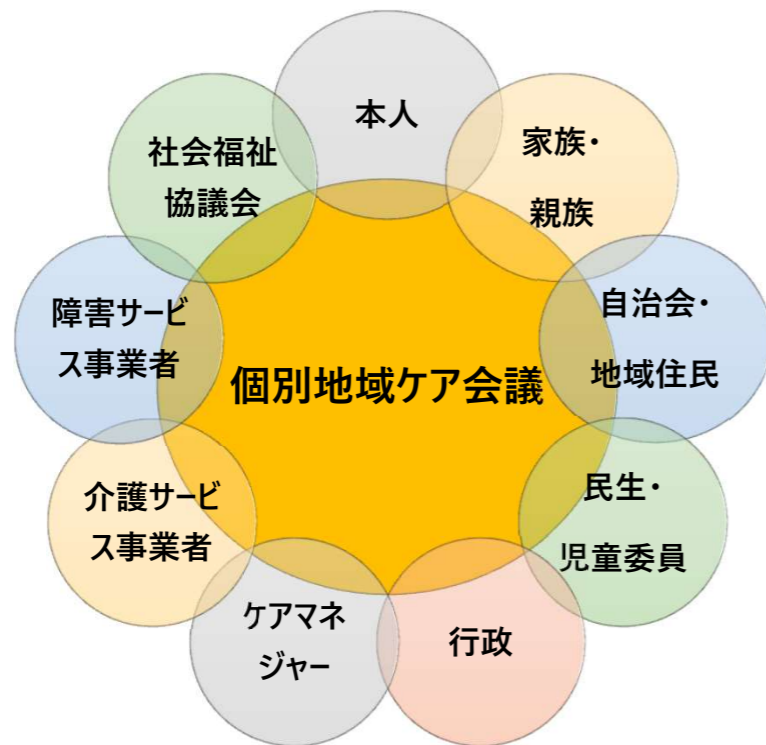
## 特集 「個別地域ケア会議」の取り組み

### ■ 「個別地域ケア会議」とは

対象となるケース（対象者・家庭）に関わる専門職や民生児童委員、行政関係者、サービス担当者などが集まり、課題を共有し解決に向けた話し合いを行う、介護保険法に基づく会議体です。

ちなみに、令和3年度は、延べ27回の「個別地域ケア会議」を開催し、課題解決に向けた取り組みを行いました。

### ■ 「個別地域ケア会議」の参加者（イメージ）



### ■ 「個別地域ケア会議」の流れ

#### 1. 課題の明確化・共有

- ・ 家庭、収支、サービス状況、経過の共有
- ・ 起きている問題、原因の共有

#### 2. 解決方法の検討・提案

- ・ 課題を解決するための手段検討
- ・ 適用可能な制度、サービスについて検討

#### 3. 課題解決におけた役割分担

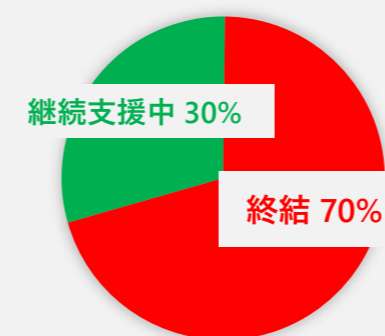
- ・ 誰が、何をして課題解決へ向けて支援していくのかを決める。

## 令和3年度「個別地域ケア会議」の開催状況

No.	参加者	内容・テーマ	No.	参加者	内容・テーマ
1	6名	対象者の生活の場、金銭管理、サービス導入について。	14	3名	対象者の住み替え・受診支援・金銭管理について。
2	6名	生活困窮・障害を抱えるケースについて、施設入所に至るまでの生活支援について。	15	5名	公共料金と利用料金滞納のあるケースについて情報共有と支援策の。
3	7名	経済的虐待。金銭管理と施設入所について。	16	7名	被虐待高齢者と養護者の世帯分離、養護者支援について。
4	10名	精神障害のある家族から高齢者への暴言、迷惑行為について。	17	7名	清掃支援、金銭管理、親族との連絡手段について。
5	8名	介護放棄が疑われるケースについて、対象者の生活の場について。	18	7名	深刻な課題を複数抱えるケースについて弁護士を交え検討。
6	5名	受診拒否、住居、料金滞納、8050等複合課題を抱えるケース。	19	7名	生活の場、金銭管理、障害のある子どもへの支援策等について、対象者の成年後見人を交えて情報共有、検討。
7	5名	成年後見制度、生活の場について。	20	6名	対象者のサービス導入、引きこもりの子どもへの支援策について。
8	5名	成年後見制度、生活の場について。	21	5名	地域住民とのトラブルのある認知症高齢者について。
9	5名	家賃や公共料金の滞納があるケースについて。	22	5名	生活困窮、ネグレクトが疑われるケースについて。
10	5名	障害・多額の滞納と債務・家族不和・社会的孤立・8050など複合的な課題を抱えるケースへの支援策について。	23	6名	深刻な課題を複数抱えるケースについて、おもに滞納について。
11	10名	権利侵害を受けているとみられる知的障害のある対象者について。	24	5名	認知症の親と障害のある子がいる家庭について、金銭管理・後見制度について。
12	7名	ネグレクトが疑われるケースについて情報共有と支援策の検討。	25	9名	深刻な課題を複数抱えるケース、施設入所と金銭管理について。
13	6名	対象者（認知症）のサービス利用、配偶者（障害）の施設入所、子どもの就労について。	26	5名	社会的孤立状態にある認知症の高齢者について。
			27	4名	莫大な滞納がある家庭について。

### ■ 開催結果

n=27



### ■ 「終了」の内訳

対象者死亡 5%

n=19

